

# 地域文化創造機構ニューズレター

Institute for Regional Culture Development Newsletter

Vol. 16 2016. 1. 25

## 活動報告

トピックス 1

### 「キャンドルナイトコンサート2015」を開催

教育支援課 係長 石田 弘樹  
(地域連携担当)



ヘレン・ヨークさん ピアノ演奏

が詰めかけ、トップレベルの演奏に酔いました。

今回は欧米を中心にした演奏活動だけでなく、ジュリアード音楽院などで教鞭をとったヘレン・ヨーク

12月15日(火) 午後4時から、追手門学院大学の学生ホールで「キャンドルナイトコンサート2015」が開かれました。あいにくの雨でキャンドルナイトは翌日に延期されましたが、100人を超える観客

さんのピアノリサイタル。11月にニューヨークで開催した『ショパンの生涯をよどみなく“表現”しながらのピアノ演奏』の再演で、美しい英語での語りと、ピアノ演奏の組み合わせ。100人を超える観客は最後の「ポロネーズ変イ長調op. 53」の演奏が終わると大きな拍手。質問が相次ぎ、コンサート終了後もヘレン・ヨークさんと来場者の談笑が続きました。



ヘレン・ヨークさんの語りにも耳を傾ける来場者

トピックス 2

### 文芸同好会の学外展示会

文芸同好会 部長 大泉 宏祐  
(国際教養学部 アジア学科 2回生)



作品を鑑賞する来場者

市民の皆さんや在學生、卒業生を含め延べ72人に来場いただきました。

学外展示は、年に一度だけ行う少し特別な展示。普段よりも部員全員に活気がありました。連携考房童子の皆さんに展示場所を提供していただき、感謝しています。

1回生と2,3回生に別れて合同詩(テーマ:1回生「力」、2,3回生「絆」)を作りました。学外展示だけで行っていることで、部員の結束が強まったように思えます。

12月2日(水)～4日(金)の3日間、阪急茨木市駅前の連携考房童子で、文芸同好会の学外展示会を開催しました。昨年、一昨年に続き3回目です。文芸同好会は部員12人。今回は16作品を展示、

大学の中ではどうしても展示を見ていただく方の年齢層が19～22歳に限られてしまいます。学外展示では様々な年齢の方に、より多くの方に見ていただけました。自分たちにとってはこれがとても大きなことなのです。

自分の作品だけでなく、展示の雰囲気についてアンケートで様々な意見をいただきました。部員一同、大きな刺激になり、これからの活動により一層やる気が出ますし、作品を作る上での貴重な意見となります。20代と、30代の方とでは感じ方が違うようで、なかなか辛口の意見もいただきました。

良いところは伸ばし、欠点はなくしていけるよう、今後部員一同、努力していこうと決意を新たにしました。



各部員が装飾を工夫して展示しました

### ■ ガンバる市で追手門学院大学学生が、地域連携の取組みを発表しました！



ガンバる市でのポスター

ん、おうてもん』と題して「Candle Night」「学生による商品開発」のポスター展示をしました。

ローズWAMでは、『学生の学生による学生のためのキャンパス発表』が行われ、追手門学院大学、近畿大学、立命館大学の3大学の発表がありました。

追手門学院大学からは、6名の学生がそれぞれの取組みについて発表しました。

大学紹介にはじまり、『すごいもん、おうてもん』のテーマで、「『食』の大切さを伝える一幅広い年代層に対しての食育活動ー」、「見山の郷商品開発プロジェクト」、「ミツバチプロジェクト」及び「追大Candle Night」の取組みについての発表をし、参加者からの質問に答えました。



質問に答える学生たち

追手門学院大学のまとめ役をした中村さんは、「茨木商工会議所でインターンシップ実習をしたのがきっかけとなり、ガンバる市の企画について、追大生、近大生、立命館生、そして商工会議所担当者と最初から練り上げました。大学間の調整・連絡や発表準備などの課題を克服・実施できたことが大きな自信となりました」との感想を話しました。また、見山の郷商品開発プロジェクトリーダーの安井さんは、「自分たちの活動を改めて点検・整理する

12月5日（土）、茨木商工会議所主催の「ガンバ大阪といばらき童子のガンバる市」が、茨木市立男女共生センターローズWAMと茨木にぎわい亭で開催され、茨木にぎわい亭では、ポスターセッションでテーマ『すごいも



「ミツバチプロジェクト」の発表

機会になりました。見山の郷との連携では、立命館大学とも繋がりができたので、今後は大学間で情報共有しながらより地域に密着した活動をしたい」と報告してくれました。

### ■ 大阪モノレール開業25周年つながりフェスタで模擬セリをしました！



模擬セリの様子

12月19日（土）、千里セルシー広場で「大阪モノレールつながりフェスタ」が開催され、大阪府中央卸売市場と追手門学院大学が「模擬セリ」を行いました。経営学部 村上喜郁准教授のゼミ生6名が、4回の模擬セリ（1回あたり30分）を行い、約60名の子どもたちが、りんご・ブロッコリー・バナナ・小松菜のセリを体験しました。また、野菜が店頭へ届くまでの経路や、小松菜を使った料理の紹介をしました。ブース前では、“せりちゃん”（大阪中央卸売市場のキャラクター）も応援に駆けつけました。



“せりちゃん”

### ■ 2015いばらき光の回廊にて、メッセージキャンドルを行いました！

11月28日（土）、2015いばらき光の回廊（JR茨木駅東口、駅前大通周辺、阪急茨木市駅西口）のイベント日に、本学学生が茨木市役所前の南グラウンド設置ブースで、子ども達からポシェ（グラスの中にキャンドルが入ったもの）にメッセージを集め、クリエイトセンター前の水路に並べました。17時30分から、ポシェ約300個に点灯。蝋燭の炎が揺らめく幻想的な空間を作り出しました。ポシェの光の中、メッセージ探しをする微笑ましい親子の姿が見られました。



メッセージ集め



キャンドル点灯

地域文化創造機構 ニュースレター

発行/追手門学院大学 地域文化創造機構

お問い合わせ

追手門学院大学 地域文化創造機構 「連携考房 童子」  
〒567-0816 大阪府茨木市永代町4-202 (阪急茨木市駅前「Socio-2」2階)  
TEL:072-621-6015 FAX:072-622-1360 E-mail:douji@otemon.ac.jp